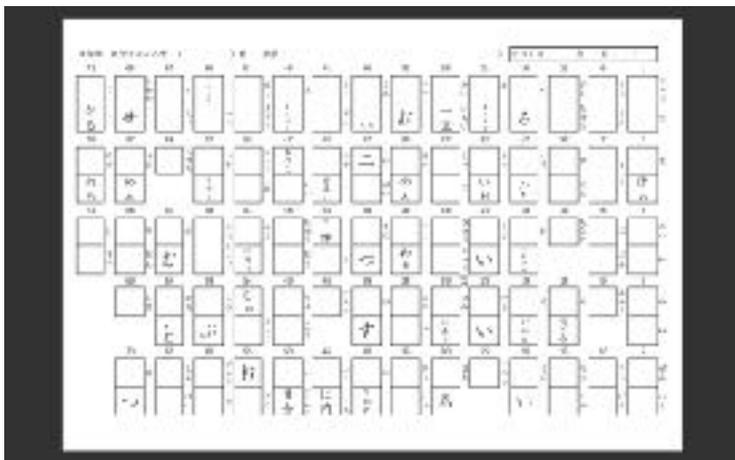


# Born Explorers

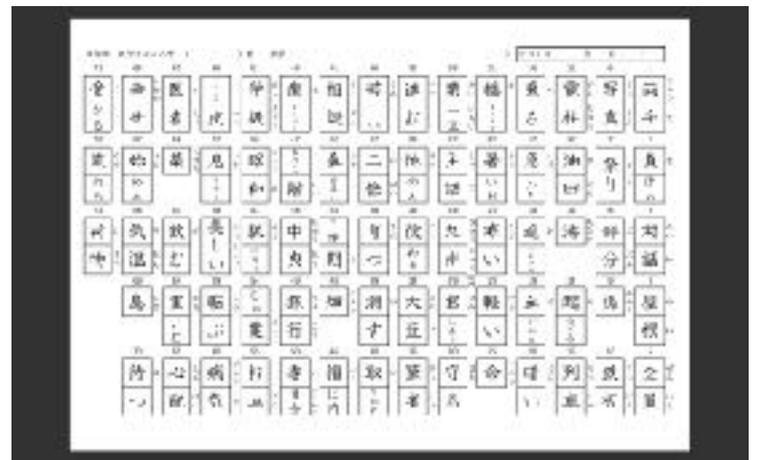
～幸せな子ども時代～

## 学習を「定着」するためのコツ

2Qの初め、7月4日（月）に漢字のテストを行います。問題数は73問、実際に書く漢字の数は約100個と、決して少なくはない分量です。



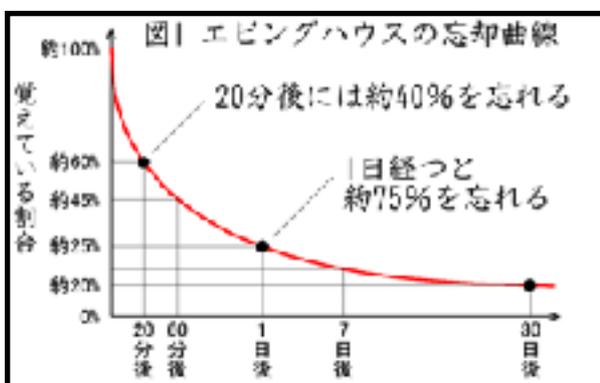
<問題>



<答え>

3年生は1Qの中で、1年間で学習する全200個の漢字を一通り学習し終わりました。毎日テストも行い、多くの子が毎回のように満点近い結果を出してきました。多くの子が結果に満足していると思います。

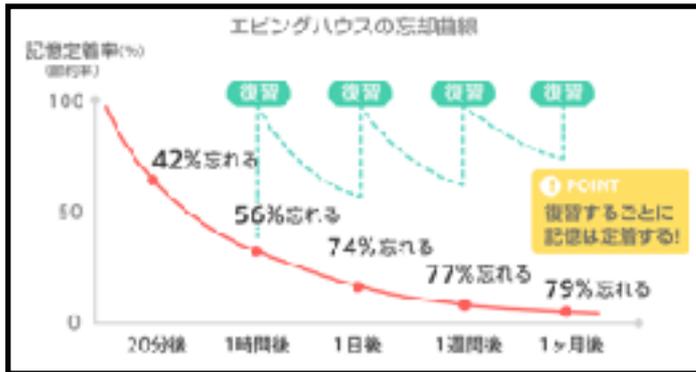
しかし残念ながら、これだけでは学習は完結しません。人は忘れる生き物です。



※インターネットより引用

エビングハウスさんによると、なんと人は1日で約75%も忘れ、30日後には80%も忘れてしまうのだそうです。子どもたちがせっかく覚えた200個の漢字は、定着しているのは今では40個ほどになっているということです。

では、200個を身に付けるには気の遠くなるような学習時間が必要なのか？実はそうではありません。エビングハウスさんの話には続きがあります。



※インターネットより引用

エビングハウスさんによると、復習することにより記憶は定着し、しかも忘れる量はだんだんと減っていくのだそうです。

2Q初めのテストは、復習の第1回目という位置付けです。

なぜ一度に大量の漢字を復習するかというと、復習の回数を増やすためです。5文字ずつ覚えた漢字をまた少しずつ復習しては、あっという間に一年は終わってしまいます。一度覚えた漢字であれば、あとはある程度まとまった量を復習し、かわりに復習回数を増やす。できれば上の図のように4回ほど復習する機会を作る。それが結果的には一番効率が良い学習になるのです。

このようなプリントのテストを残り2枚、合計3枚用意しています。逆に言えば、たった3枚で3年生の漢字200個の復習が完結するということです。2Qでは、このプリントを使って、復習の回数を圧倒的に増やします。3年生の漢字が定着したら2年生の時の漢字の復習も行う予定です。

「一度覚えた」と「定着した」との差はとても大きいです。僕は「定着した」と本人が自信を持って言えるところまで、徹底的に寄り添いたいと思っています。

では次に「どのようにして乗り越えればいいのか」端的に言えば「90点以上の合格をクリアーするか」の、こつを書きます。

(次ページに続く)

おすすめの方法は以下の手順です。

- ①全然書けないうちは、答えを見ながら何度か書く。
- ②ある程度書ける自信がついたら、答えを見ずに自分でテストしてみる。
- ③丸付けをして、何が書けて何が書けないのかを知る。
- ④書けなかった漢字だけ練習して、書けるようにする。
- ⑤全部書けるようになったと思ったら、もう一度自分でテストしてみる。

重要なポイントは「効率よく、できないものだけ練習する」と「だんだんできるようになっていることを実感できる」ことです。この2つを満たす復習方法が、良い復習です。

一度「復習の仕方」を理解した子は、学習効率が飛躍的に高まります。昨年まで全く漢字が覚えられなかった子が、ある時を境に驚くほどの成長を遂げることもよくあります。3年生の今こそ、復習の仕方を学ぶ最もよい時期です。

絶対にやってはいけないのが

「ひたすら何度も書かせる。書く回数を他者が決め、決められた回数が終わるまで、とにかく何度も書かせる」ことです。

このような方法を取ると、子どもは学習を「作業」と認識し「どうやって早く終わらせるか」のみを考えるようになります。結果として「大変だったのに覚えることができなかった。私は勉強ができない子なんだ。勉強なんてつまらない。」なんて感情だけが残ってしまうことになりかねません。

「大変だけど、達成感がある。報われる。」それが目指す姿です。

習得の学習の究極の目的は「達成感」を得ることです。お子様の学習がそのような充実したものになるよう、精一杯サポートさせていただきます。

※どうしても乗り越えられないお子様もいらっしゃいます。無理に乗り越えさせようとするのではなく、ご相談ください。「テストの量を半分にする」ことや「うっすら答えが書かれている字をなぞる」など、乗り越えるためのスモールステップは多々あります。きっとお力になれると思います。

2Qは飛躍の時です😊